

熊本丸新聞

R4 11.11
天草拓心高等学校
2年 海洋科学科
興格 樹里

熊本丸って何?



込められています。そして、本船は「新しい時代に則した安全・安心環境に配慮した実習船」をキャッチフレーズに建造され、横揺れの軽減や燃料コストの軽減を現実させた最新鋭の船です。

熊本丸の特徴
・トロール漁業実習
(東シナ海の底魚類の資源量の調査)
・総トン数 495t
・大きさ 54.87m
・最大搭載人員 48名

最新の施設・設備が特徴の本船を活用し、より安全な航海実習の中で、高いレベルの学習ができることを期待されています。また、実習船を利用した漁業から、加工実習まで通じた六次産業化についての学習により水産

食品業の人材育成も期待できるといいます。

「航海実習」出港式一四月、入学式を程なくして行われるのが、三年生海洋航海コース生徒が乗船する、出港式です。年度初めての航海を祈願して、全校生徒に見送られながら出港します。式典では、生徒代表が、「船舶運航技術や、船舶職員

【竣工】天草拓心高等学校水産実習船第五代「熊本丸」が造船されたのは、平成三十一年(二十九年)です。熊本丸は、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県石巻市の造船場で建造されました。

また、熊本地震として東日本大震災から再生の道を進む熊本・宮城両県にとって、復興の象徴であり、明るい未来を乗せるという思いが

乗船中の甲板実習では、大型船のアンカーの上げ下ろしや、東シナ海での底魚類の資源量の調査など、より実践的な学習ができます。他にも、当日誌の書き方や、航海計器の扱い方が学べ、英語を使用した専門用語を身に付けながら船上での実習の日々を送っています。

気になる他校の船事情

・北海道教育庁が所有する漁業実習船「若竹丸」。小樽、函館、厚岸、翔洋の三校が共有して使っています。

マグロはえ縄漁や、サケ、マス、の流し網の漁業実習を行っています。(マグロ魚の実習は、ハワイ近海で行っている。サケ、マス魚の実習は、北部太平洋で行っている。)

感想をいってみました!



船での生活に慣れるのに時間がかかりますが、船の動かし方の基礎から、応用まで学ぶことができます。

船酔いは辛いですが、同じ船に乗る仲間と共に乗り越え、実習期間を終えることができます。達成感がすごいです。

(令和四年度二年生)



本船は第六代目ですが、二代目であった船は太平洋戦争で日本軍に徴用され、アメリカ軍の攻撃により沈没したそうです。

長期実習航海の出港や帰港は地元風物詩で、在校生や家族に見送られるから出港します。

鹿児島県立鹿児島水産高等学校が所有する漁業実習船「薩摩青雲丸」。

本船は、マグロはえ縄漁の実習、海洋観測や海洋生物の調査と研究を行っています。マグロ魚の実習は、ハワイ沖で、年に三回行っています。



漁獲したマグロは、枕崎漁港か、三浦漁港で水揚げされているそうです。船内では、毎朝七時に起床し、

デッキでラジオ体操を行っています。



航海実習中は、操船や当直などを行い、船乗りになるための知識技術を身につけることができます。

また、船内での集団生活を通して、時間と規律を守ることの大切さを学ぶことができました。

実際に船に乗って学ぶことができ、とても貴重な体験ができました。

(令和三年度三年生)

